

JML 南インド芸能クラス レクチャー

《インドをなぞ解く👉》

南インド古典音楽の楽しみ方 的場裕子さんをお迎えして



Lecture on South Indian classical music by Smt. Yuko Matoba

インドの音階にはたくさんの種類があるというけれど

そんなに色々な音を使いこなすためにはどんな勉強をするの？

南インドの曲は譜面に書かれているの？

作曲家が作った一つの曲が、演奏家によって全然違って聞こえるのはなぜ？

音楽を聴く楽しみ、演奏する楽しみ、学ぶ楽しみ、

40年以上に渡って研鑽し続けている的場さんに、

南インド音楽を十倍楽しむコツを、現地映像を交えてお話しして頂きます

日時：2017年7月8日(土) 15:00～

場所：NPO法人 JML 音楽研究所 世田谷区松原 5-22-2

京王線明大前駅より徒歩10分、井の頭線東松原駅より徒歩5分、小田急線梅が丘駅より徒歩13分

参加料：¥2,000 /JML生 ¥1,500 (レクチャーの後に小パーティー付き)

お問合せ&お申込はNPO法人JML音楽研究所まで

【要予約、お申込は前日迄にお願い致します】

TEL: 03-3323-0646 FAX: 03-3325-5468 E-mail: jml-irinopz@nyc.odn.ne.jp

企画：入野智江ターラ (JML音楽研究所講師)、高橋冽子 (JML音楽研究所所長)



東京藝術大学楽理科卒。民族音楽学専攻。故小泉文夫教授に師事。1972年タミルナード州立音楽大学留学。ウィーンを故Rajalakshmi Narayanan氏および、故Nageswara Rao氏に師事。以後40年以上に渡り、研修を続ける。2005年よりインドでも演奏活動を開始する。

研究論文「南インド古典音楽で演奏されるラーガの現状について」音楽之友社、研究報告「Flexibility in Karnatic Music」国立民族学博物館などがある。日本女子体育大学名誉教授。現在東方学院にて「南インド古典音楽」の講座を開講している。 <http://www.matoba.in>